

3. 基本設計・実施設計の受託事業者が決定しました

新庁舎の基本設計・実施設計の受託事業者について、公募型プロポーザル※により受託候補者として選定された「株式会社 梓設計」と、平成31年1月11日に壬生町新庁舎建設基本設計・実施設計業務の契約を締結しました。

(参考) 基本設計・実施設計とは

- 基本設計：基本構想・基本計画で示された考え方を基に完成時の姿を明確にするための概略設計
- 実施設計：基本設計を基に実際の工事に必要な図面を作る詳細設計

公募型プロポーザルによる選定にあたっては、大学教授などの学識経験者や副町長、町職員から構成される「新庁舎建設設計者選定審査委員会」を組織し、審査方法や評価基準について協議を行い、第一次審査（書類審査）及び第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）を実施しました。

そして審査委員会における慎重審議の結果、『基本設計・実施設計業務委託』の受託候補者として「株式会社 梓設計」が選定され、三橋委員長から小菅町長へ審査結果報告書が提出されました。

なお、審査結果報告書の詳細については、町公式ウェブサイトに掲載しています。

※公募型プロポーザル方式：参加希望者を募って、設計の取組方針等の提案を総合的に評価して設計者を特定する方法。設計料の競争入札ではなく、設計者としての適正・能力等を重視します。



2次審査におけるプレゼンテーションの様子



三橋審査委員長から町長へ審査結果報告書の提出

4. 今後のスケジュール及び移転時期について

現在、基本設計業務に着手したところですが、今後は基本設計（約5ヵ月）、実施設計（約6ヵ月）を行った後、建設工事を施工する事業者を選定し、建設工事（約1年半）の実施という流れとなります。

新庁舎への移転・開庁は、2021年度中（平成33年度中）を目途として進めて参ります。



新庁舎建設だより(創刊号)

平成31年2月



新庁舎の建設には町民の皆様や町議会のご理解を得ながら進めることが大切であることから、この度「新庁舎建設だより」を発行していくこととしました。今後定期的に進捗状況等をお知らせしていきます。

1. これまでの経緯

新庁舎の建設に関しては、庁舎建設委員会や町議会、庁内検討組織において候補地の比較検討等を行った結果、「総合運動場CDグラウンド」への建替えを決定しました。

そして新庁舎建設に関する基本的な考えなどを示した「新庁舎建設基本構想」及び「新庁舎建設基本計画」を策定し、これらを基に設計業務を実施する事業者を選定するため、公募型プロポーザルを実施しました。

- 平成30年7月 「新庁舎建設基本構想」の策定
- 平成30年10月 「新庁舎建設基本計画」の策定
新庁舎建設設計者選定審査委員会の設置
新庁舎建設基本設計・実施設計者選定公募型プロポーザルの公告開始
- 平成30年11月 公募型プロポーザルへの参加表明書の提出
公募型プロポーザル第一次審査の実施（書類審査）
- 平成30年12月 公募型プロポーザル第二次審査の実施（プレゼンテーション及びヒアリング）
⇒審査委員会として受託候補者を選定し町長へ報告
- 平成31年1月 基本設計・実施設計業務委託契約の締結

2. 付帯意見について

新庁舎の移転整備を示した「新庁舎建設基本構想」の策定に際しては、学識経験者や各種団体の代表者および公募により選出された町民により構成された庁舎建設委員会で慎重な討議が行われました。

その結果、移転整備に伴って様々な影響が想定されることから、移転整備と並行して同時に検討・対応を行う必要があるとして、庁舎建設委員会から以下の3点について付帯意見として示されました。

【移転整備に当たっての付帯意見】

- ①庁舎の移転が壬生市街地衰退を招かないよう、庁舎跡地を活用した活性化策を検討すること
- ②CDグラウンドの利用者に対して不便をかけることが無いように対応すること
- ③自動車利用困難者においても庁舎へのアクセス性が確保できるよう交通体系を検討すること

新庁舎建設の推進にあたっては、これらの事についても同時に検討・対応を進めて行きます。



↑新庁舎建設予定地位置図